

## 総務委員会会議録

日時 平成22年10月7日(月) 開会時間 午後 5時59分  
閉会時間 午後 6時42分

場所 第3委員会室

委員出席者 委員長 鈴木 幹夫  
副委員長 河西 敏郎  
委員 前島 茂松 渡辺 亘人 内田 健 石井 脩徳  
堀内 富久 樋口 雄一 小越 智子

委員欠席者 なし

説明のため出席した者

総務部長 古賀 浩史 総務部次長 山本 一  
総務部次長(人事課長事務取扱) 原間 敏彦  
総務部次長(財政課長事務取扱) 山下 誠

議題 (付託案件)

第86号 平成22年度山梨県一般会計補正予算第1条第1項歳入歳出予算の補正額及び歳入歳出予算の総額、同条第2項歳入各款並びに第4条地方債の補正

審査の結果 議案については、原案のとおり可決すべきものと決定した。

審査の概要 午後5時59分から午後6時41分まで総務部関係(午後6時7分から午後6時40分まで休憩をはさんだ)の審査を行った。

主な質疑等

第86号 平成22年度山梨県一般会計補正予算第1条第1項歳入歳出予算の補正額及び歳入歳出予算の総額、同条第2項歳入各款並びに第4条地方債の補正

質疑

小越委員 県債の14億円ですけれども、これは林業費、道路橋りょう費、国直轄事業費負担金の内訳だと理解するんですけど、この県議会議案補正予算説明書の7ページを見ますと、県債の説明で一般補助事業債は、農地費充当、林業費充当、道路橋りょう費充当、国直轄事業費負担金となりますと、公共事業はやればそれなりの県の負担分があるので、その県債を発行するという理解でよろしいでしょうか。

山下総務部次長 今回お願いしております公共事業費26億2,000万円余の執行に伴います県債の発行でございます。ただし、この県債につきましては、地方交付税によりまして、元利償還金が補填される有利な県債となっております。

小越委員           それで、この地方債の補正後は、925億7,400万円になっているんですけど、こちらの議案の最後のページの14ページ、地方債の平成20年度末及び21年度末における現在高並びに平成22年度末における現在高見込みに関する調書を見ますと、22年度末現在高見込額は、1兆円を超えるということによろしいでしょうか。

山下総務部次長     議案の最終ページに関しましては、現段階で発行をお願いしています総額を載せており、事業の繰越しとかそういったものを全く考慮していないという状況の数字でございまして、そのまま全部がこれに載ればこの数字になるという見込額でございまして。

小越委員           この14ページを見ますと、20年度末は8,872億円、21年度末が9,610億円、そして22年度末は1兆円ということで、1兆円の台に乗るわけです。この間、前の補正のときも7億円出して、今回も14億円ということで、公共事業やればやるだけ、借金がふえるというこの仕組みは、1兆円の借金をほっとけないというんですが、平成20年度から比べて、これだけふえていることになります。私はこの借金をふやすというところに歯止めがかからなくなりますので、今回、14億円県債がふえて1兆円になるということを含めて反対いたします。

討論               なし

採決               賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

その他

- ・ 委員会報告書の作成及び委員長報告については委員長に委任された。

以 上

総務委員長 鈴木 幹夫